

# 環境教育「まず、今できることから」

## 歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会  
 編集者：代表幹事 高橋 賢一  
 連絡先：市民活動支援センター  
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7  
 (渋川福祉センター内)  
 TEL 0561-51-2878



二〇〇五年八月六日夜小泉純一郎首相(当時)が暮らす邸から出てきた元首相の森喜朗氏はテレビカメラの前に立つと「さじを投げたをおれも」と語った。郵政民営化の是非を問う衆院解散は思いどまらず、首相を公邸で説得したが、ためだたという嘆き、森氏は公邸で説得した。ビールの缶を報道陣に見せた。つまり「千からびたチリスとサーモンみたいなもの」だけ郵政民営化へのこだわりを語った。



公邸で親戚と忘年会を開き、記念撮影に廻いたと週刊紙に報じられた岸田首相の長男、事業上の更迭である。報道によると親戚十人以上が、集合写真を撮るなり寝をべんりした。はしゃぎすぎと世の反感を買っているしかも首相もその場にいたとき、これはもう首相の資格なし。政策の風船が膨らんで予算の内容も見せろなどの様に予算を見せろ出来ぬ政策、こんな首相は最低である。



もう一度「本」をレファリ読むことで自分の意みを心に沁みこころ、感することだ。日本の首相の落却、朱印を作り、失格。

